

行政評価シート

事務事業名	中心市街地活性化事業			事業開始年度	平成28年度
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(2)商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
施策 (手法)	①中心市街地と地域商業の活性化
取組事項	I. 中心市街地の活性化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	中心市街地の商業を活性化の中心的な役割を担う中心市街地活性化協議会を中心に、中心市街地のあり方等を検討し、中心市街地活性化基本構想を策定する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	中心市街地活性化協議会補助 ※令和2年度より「商店街活性化推進事業」へ統合
------	---------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	中心市街地の活性化			指標の単位	-
指標の説明	-				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	中心市街地活性化基本構想策定中であり、現在進捗なし。				所管課評価
					-

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	中心市街地活性化基本構想での中心市街地の活性化に関する具体的な事業が具現化した際には中心的な役割を担うこととなる。

行政評価シート

事務事業名	中心市街地活性化実践事業			事業開始年度	平成29年度
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(2)商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
施策 (手法)	①中心市街地と地域商業の活性化
取組事項	I. 中心市街地の活性化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	中心市街地において、賑わいを創出する事業を行う商店会等を支援し、地域経済の活性化と交流人口の増加を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	中心市街地活性化実践事業補助 ※令和元年度より「賑わいづくり支援事業」へ統合
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	中心市街地でのイベント数			指標の単位	件
指標の説明	各イベントごとに指標を設定しているため、本事業の指標としてはイベント数とする。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	-	6	6	-	-
実績(見込)値	-	6	8	-	-
達成度(%)	-	100.0	133.3	-	-
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	実施事業については、イルミネーション事業が中心であり、継続して集客が図れる新たな取組が必要。				所管課評価
					-

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	令和元年度より「賑わいづくり支援事業」へ統合。 今後、イベント開催による集客により、商店街等の活性化、更には経済の活性化に繋がるような事業へ誘導する。

行政評価シート

事務事業名	商店街活性化推進事業(商店街街路灯電気料補助)		事業開始年度	令和2年度	
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(2)商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
施策 (手法)	①中心市街地と地域商業の活性化
取組事項	I. 中心市街地の活性化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	商店街等に設置された街路灯で、地元商店街等が管理し負担している電気料の一部を補助し、賑わいを創出する商店街等を支援する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	商店街街路灯電気料補助金(補助率1/2)
------	----------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	補助交付対象者(組織)			指標の単位	者(組織)
指標の説明	電気料補助金の交付対象者(組織)数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	-	-	-	-	10
実績(見込)値	-	-	-	-	8
達成度(%)	-	-	-	-	80.0
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	当初予算見積で見込んだ10組織のうち8組織から交付申請あった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	現在の商店街等の組織の維持、更には地域の防犯などに寄与するため、今後も商店街等に対する支援継続が必要。

行政評価シート

事務事業名	魅力ある店舗づくり支援			事業開始年度	平成28年度
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(2)商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
施策 (手法)	①中心市街地と地域商業の活性化
取組事項	Ⅱ. 商業まちづくり活動の活性化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	店舗改修による来客者の利便性の向上及び経費の節減。また、新商品開発や販路拡大することにより売上げの増。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗等施設整備費補助(令和2年度より「繁盛店づくり支援事業」へ統合) ・繁盛店づくり支援事業補助
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	店舗改修数			指標の単位	件
指標の説明	店舗改修件数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	40	40	40	40	-
実績(見込)値	67	75	59	42	-
達成度(%)	167.5	187.5	147.5	105.0	-

指標名②	繁盛店づくり支援事業申請者数			指標の単位	件
指標の説明	繁盛店づくり支援事業補助金を活用				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	-	10	10	10	50
実績(見込)値	-	9	13	14	32
達成度(%)	-	90.0	130.0	140.0	64.0

【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった

【説明】	店舗等改修事業については、申請件数は目標値を超えている状況であり、制度としては有効であった。しかしながら、改修が老朽設備の更新や照明のLED化等、集客に直接結びつくものではないものが多かった。	所管課評価
		B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
----------	--------

【説明】	店舗等改修事業補助については、令和2年度より繁盛店づくり支援事業に統合し、魅力ある店舗づくりとなるような制度とした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により事業者の意欲が欠かれたため、申請件数が少なかった。 今後は、補助事業の魅力を打ち出し、事業者の意欲の醸成を図り、商店街等の活性化に繋げたい。
------	--

行政評価シート

事務事業名	賑わいづくり支援事業			事業開始年度	平成29年度
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(2)商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
施策 (手法)	①中心市街地と地域商業の活性化
取組事項	Ⅱ. 商業まちづくり活動の活性化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	賑わいを創出する事業を行う商店会等を支援し、地域経済の活性化と交流人口の増加を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	賑わいづくり支援事業補助金
------	---------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	イベント来訪者数			指標の単位	人
指標の説明	各イベント一件あたり来訪者平均300人とする。(H29年度6件)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	-	1,800	1,800	1,800	1,800
実績(見込)値	-	4,411	4,360	10,250	1,954
達成度(%)	-	245.0	244.2	569.4	108.5
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	イベント開催については、中心市街地活性化実践事業を統合したことにより、令和元年度は14件、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により4件の開催となった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	感染症の収束後においては、各イベント実施主体に対し、マンネリ化とならないような企画について促す。また、現在取り組んでいない地域についても、実施を促していく必要がある。各イベント実施主体に対し、企画案について再考を促す。また、現在取り組んでいない地域についても、実施を促していく必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、後年度も現状の制度の中で支援する。